



SERVE TO CHANGE LIVES

Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2021～2022 年度 RI のテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



facebook



会長 宮田 雄一 幹事 大作 貴洋

<http://www.sugito.club>

第2622回例会2021年9月23日(祝)

第2623回例会2021年9月30日

0480-31-0037の FAX は 11 月から停止になります

0480-31-0031 に登録の変更をお願い致します!!

四つのテストについて

例会始めに唱和するおなじみの「四つのテスト」ですが、これは、事業および専門職務に携わるロータリアンの心構えとしての指針です。

公式訪問では、主に職業奉仕委員長が唱和を担当しています。

今週号は、ロータリー入会のオリエンテーション冊子から「四つのテスト」を抜粋して掲載致します。次週からは、いよいよ例会が始まります！皆様のご出席をお待ちしております。

The Four-way test 四つのテスト

1. Is it the truth? 真実かどうか

「嘘偽りがないかどうか」という意味です。商取引において、商品の品質、納期、契約条件などに嘘偽りがないかどうかは、非常に大切な基準です。

2. Is it fair to all concerned? みんなに公平か

「すべての取引先に対して公正かどうか」ということを意味します。

3. Will it build goodwill and better friendships? 好意と友情を深めるか

その商取引が店の信用を高めると同時に、よりよい人間関係を築き上げて、取引先を増やすかどうかを問うものです。

4. Will it be beneficial to all concerned? みんなのためになるかどうか

商取引において適正な利潤を追求することは当然なことであり、決して恥ずべきことではありません。ただし、売り手だけが儲かった、また買い手だけが儲かったのでは公正な取引とは言えません。その商取引によって、すべての取引先が適正な利潤を得るかどうかを問うものです。
(RI2680 地区 田中 毅 PDG ロータリーの源流より抜粋)

「四つのテスト」の由来

そう考えると「四つのテスト」ってとても重要ですね。皆さんも「四つのテスト」は例会で何気なく唱和されていると思います。これって、一体誰が、いつ頃作ったものかご存じですか。

1932年、大恐慌の時代、バタバタと企業が倒産し、商業倫理もすさんでいました。そんな中、シカゴの実業家ハーバート・テラーさんは、倒産寸前のアルミ食器会社の再建を依頼されました。

その後、テラーさんの手腕と努力によって会社は見事に立ち直り、10年後には一流企業に成長しました。その大成功の秘訣が「四つのテスト」でした。テラーさんは、荒廃した社会風潮の中で、他社にない清廉な倫理観や世の中に模範となるような価値観を、わずか4行のわかりやすい言葉で作り、全従業員に暗唱させ、日々の仕事の行動指針としました。従業員たちはお客や取引先と接するとき、「真実・公平・みんなのため」と唱えながら仕事に励みます。相手は驚き、感動し、信頼し、そして次の仕事も依頼しました。こうして、次第に大きな成功につながっていったのです。

テラーさんは、この成功の秘訣を独り占めにしませんでした。惜しげもなく公開し、1954年、RI会長就任に際して、「四つのテスト」の権利をRIに無償で譲渡したのです。

以来、「四つのテスト」は、ロータリークラブの職業奉仕の理念を端的に表すものとして、世界中のクラブで提唱されているのです。



例会日: 木曜日 12:30～13:30 例会場: 埼玉懸信用金庫 杉戸支店 2F

事務所: 杉戸町杉戸 2-15-21 埼玉懸信用金庫 杉戸支店 2F

TEL&FAX 0480-31-0031

「四つのテスト」に従った仕事

ではさらに具体的に、「四つのテスト」にのっとった仕事ぶりというのは、どうすればいいのでしょうか。

①「真実か どうか」

昨今、大手企業のデータ偽装や隠蔽が発覚して、謝罪会見がくりかえされています。ロータリアンは「真実」を尊び、偽装や隠蔽を許しません。虚偽誇大広告・データ偽装・品質表示偽装などは絶対にいたしません。真実の情報を積極的に公表します。

それを公表することで会社は大きなダメージを受けるかもしれません。しかし、虚偽はいずれ発覚します。そして隠蔽行為はよりいっそう信用を失墜させます。逆に、ダメージを覚悟して真実を貫くあなたの姿勢を世間は尊敬し信頼するでしょう。そして近い将来、あなたはより大きな成功を収めるのです。

②「みんなに公平か」 ③「好意と友情を深めるか」 ④「みんなのためになるか どうか」

他社を出し抜き、蹴落とし、取引先やお客を泣かせて一人勝ちをするのではなく、できる限り地域全体、業界全体の共存共栄を目指しましょう。時にはノウハウを独り占めせず公開しましょう。利益の適正分配を目指しましょう。下請けあつての元請けです。お客や取引相手に多少のミスがあっても、お互い様と寛容しましょう。賄賂や接待で不公平な扱いはやめましょう。

このような世のため人のためを考えた行動は、時に自己犠牲を伴うこともあるでしょう。しかし、これこそがロータリアンらしい行動であり、そのような職業遂行の姿勢こそが「職業奉仕」なのです。

キーワードは「職場に持ち帰る」

ロータリーは、寄付や奉仕活動をするのが最終目標ではありません。

寄付や奉仕活動に参加したり、例会の卓話などで勉強した「奉仕の理念」を自分の職場に持ち帰ります。そして、職場で、自分のため会社のためだけでなく、真実・公平・世のため人のためを考え、時には自己犠牲も厭わない、さらに言えば「四つのテスト」を社是社訓として、自分自身を律し、日々の仕事に邁進する。そして自分の職業を通じて、職業で世の中に貢献し、奉仕する。そこまでやって初めて「職業奉仕」となるのです。

このように言うと皆さんは、「そんなのは理想論だよ！」「自己犠牲の経営なんて無理無理！」「会社経営は甘くない、社員も家族もいるんだよ。」と思いますよね。

そうなんです。ロータリーはかなり高度な理想、ハイレベルな倫理観を求めているのです。誰でも簡単に実現できることではありません。経営者には責任があります。できればそうしたいけれどと思いつつ、自社の利益を優先することもあるでしょう。

しかし、それでもなお奉仕の理想を求め続けるのがロータリーです。だからこそロータリアンは世界中で尊敬され、難しいからこそ生涯をかける価値があるのです。



それにしても、ロータリーってすごいですよね。職業人が、仕事をしながら世のため人のためを考えよう、仕事を通じて社会に貢献しようなんて、何だかかっこいいと思いませんか。